

# 新

年あけましておめでとーございませう。

新型コロナウイルス感染症によって市民の皆さまの御心労はいかばかりかと拝察申し上げます。このような中でも希望を感じていただける市政運営をと決意を新たにしております。感染状況は一進一退を繰り返していますが、どうか心を強く持ち、感染予防の基本的対策を継続くださいませうようお願い申し上げます。

昨年は、7月に市民活動・共働・共創の伴走支援を目的として「福津市未来共創センター」がオープンしました。本市の真髓ともいえる市民によるボランティア活動は大切にしながら、さらに幅広い活動や出会いが生まれる場となるよう努めてまいります。

11月には藤井聡太竜王と広瀬章人八段による「第35期竜王戦七番勝負第5局福津対局」が宮地嶽神社を舞台に行われ、市中央公民館を会場とした大盤解説会には全国から、また多くの市民の皆さまにもご来場いただきました。

同じく11月には、民間調査会社による「全国住み続けたい街ランキング2022」の発表で、福津市が「全国1位」となり、活力ある都市としての認知は確実に進んでいます。今後は、そのような成果をさらに福祉・教育施策など、皆さまが生活の向上を実感できるものにしてまいりたいと思っております。

また、昨年からは、宅地化が進んだ海岸エリア(西福岡5丁目、宮司地域)に「新設小学校」の建設事業を進めております。今後、その校区をどうするのか、福岡南小学校区および福岡中学校の教育環境をどのように向上させていくのか、市民の皆さまの声を聞きながら、決定してまいります。

結びに、本年の市政運営は、「対話」に重きを置いてまいります。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

# 明

けましておめでとーございませう。

皆さまにおかれましては、日ごろから、本市教育行政へのご理解とご協力、そして、学校・家庭・地域の連携・協働による子どもたちの教育活動へのご支援、主体的な参画をいただき、心より感謝申し上げます。

本市では、変化の激しい社会、コロナ禍の時代において、志をもち、未来をたくましく切りひらく子どもの育成を目指しています。そのために、市内各小中学校における学力向上の取り組みの充実を図るとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら共働するコミュニティスクール(地域と共にある学校づくり)の取り組み、特に小学校と中学校との連携、各中学校区の特徴ある取り組みを推進しています。

教育環境の整備では、特に児童生徒数が急増している海岸エリア(西福岡5丁目、宮司地域)において、新設小学校建設事業を進めています。また、すでに過大規模校化している福岡南小学校では校舎増築、活動場所の確保、人員配置を実施し、過大規模校化を目前にしている福岡中学校についてはソフト面・ハード面の対策を早急に計画し、進めていきたいと考えています。

学校施設の整備や過大規模校対策を進めるに当たっては、長期的な見通しを立てること、アンケートや学校運営協議会、教育懇話会など保護者、地域のかたがたおよび学校の意向を取り入れることを大切にしたいと思います。

さらに、これまで積み重ねてきた「地域と共にある学校づくり」と地域学校協働活動を生かした「学校を核とした地域づくり」を一体的に推進することによって、社会総がかりの教育を実現することができるよう、皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が幸多き年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。



福津市教育長  
大 嶋 正 紹



福津市長  
原 崎 智 仁



# 新年のご挨拶